

BCP（事業継続計画）に基づく 災害対応の机上訓練

地域包括支援センター 編

令和7年度 日向市介護サービス事業者集団指導

日向市 健康長寿部 高齢者あんしん課 介護認定係

I. 机上訓練の概要

目的	- 地震発生時における地域包括支援センターの初動対応 - 地域の高齢者等の安否確認・支援調整 - 関係機関との連携強化を図る。
想定災害	大規模地震発生（震度6強） 地域の交通・通信障害、停電などが発生。➡避難所開設
発生時間	午前11時
机上訓練時間	1時間程度
職員の状況想定	- 地震発生時、事務所にいる職員と利用者宅を訪問中の職員がいる状態。 - 事務所内の職員は施設の安全確認と安否確認を開始。 - 訪問中の職員は安全確保を優先しつつ、可能な範囲で利用者の安否確認を実施。 - 事務所と訪問中の職員間で連絡手段が限られる中、情報共有と役割分担が重要となる。

I. 机上訓練の概要

時間	状況変化	事業所対応・検討事項	利用者対応・訪問中の職員行動
0分 (11:00)	大規模地震発生（震度6強）	職員は安全確保。 事業所の被害状況確認開始。	訪問中の職員は利用者宅で 安全確保。未訪問の利用者の 安否確認開始。
10分	通信・交通障害発生	緊急連絡網の活用・検討。 職員の安否確認開始。	訪問中職員の所在確認。 利用者の状況把握優先。
20分	利用者の安否確認進行	利用者リストをもとに優先 順位付け。訪問計画の見直し。	利用者宅の状況報告。 緊急支援が必要な利用者の 特定。
30分	地域の防災情報入手	行政・医療機関との連絡体制確認。	訪問優先順位の再調整。 緊急訪問の調整。
40分	事業継続計画（BCP）発動	優先業務の抽出と代替手段 の検討。	安否確認の訪問職員の交代。 帰所指示検討。
50分	職員の交代・帰宅判断	職員の帰宅・交代体制検討。	利用者の支援継続計画の調整。
60分	課題抽出・改善策検討	訓練参加者で課題共有と改善策検討。	今後の防災体制見直しの方向性確認。

2. ワークシートの使用場面について

ワークシートは、机上訓練の進行に合わせて参加者が考え、記入しながら議論を深めるためのツールです。具体的には以下の場面で使用します。

	使用するワークシート	目的
1. 訓練開始直後～初動対応の検討時	● 初動対応と職員の安全確保	● 職員が自分たちの状況や対応策を整理し、地震発生直後の安全確保や安否確認の課題を共有する。
2. 地域状況把握と支援調整の検討時	● 地域状況把握と関係機関との連携方法	● 地域の被害状況や支援対象者の優先順位付け、関係機関との連携方法を具体的に検討。
3. 利用者の安否確認と支援優先順位を検討する場面	● 利用者の安否確認と訪問計画	● 利用者の状況を把握し、優先的に支援すべき対象や具体的な支援方法を検討する。
4. 事業継続計画（BCP）に基づく対応策検討時	● BCPの実践	● 優先業務の抽出や代替手段の検討、課題と改善策の整理を行い、事業継続の具体策を考える。
5. 訓練終了前の課題抽出・振り返りの場面		● ワークシートに記入した内容を基に、グループまたは全体で共有・討議し、改善策をまとめる。

3. ワークシート(1) 初動対応と職員の安全確保

項目	記入欄
地震発生時の職員の状況	例：事業所内3名、訪問中4名
事業所の被害状況	例：書類散乱、設備の破損
職員の安全確保方法	例：安全な場所への避難、応急処置

3. ワークシート(2) 地域状況把握と関係機関との連携方法

項目	記入欄
地域の被害状況把握方法	例：自治体情報、消防署、避難所連絡
関係機関との連携方法	例：定期連絡会議、情報共有ツール

3. ワークシート(3) 利用者の安否確認と訪問計画

項目	記入欄
利用者の優先順位付け	例：医療依存度の高い利用者優先
利用者の安否確認方法	例：電話連絡、訪問確認
緊急訪問が必要な利用者の特定	例：医療機器使用者、独居高齢者
訪問計画の見直し	例：交通状況を踏まえた訪問順序

3. ワークシート(4) BCPの実践

項目	記入欄
優先業務の抽出	例：安否確認、支援調整、情報発信
代替手段・リソース	例：ボランティア活用、ITツール導入
職員の交代・休憩体制	例：シフト調整、休憩場所確保
今後の課題と改善策	例：通信環境の強化、訓練頻度増加

4. チェックリスト（机上訓練終了後の振り返り）

項目	記入欄
職員体制・安全確認	☐ 職員の安否確認が迅速にできたか ☐ 出勤可能な職員の判断基準が明確か ☐ 緊急連絡網は最新かつ機能しているか ☐ 地域の被害状況を的確に把握できたか
利用者安否確認・支援	☐ 支援対象者の優先順位付けが適切にできたか ☐ 安否確認方法は多様で機能的か ☐ 支援が必要な利用者への対応策が具体的か ☐ 関係機関との連携体制は機能したか
情報収集・共有	☐ 代替の通信手段が確保されているか ☐ 地域の防災情報を入手できる体制があるか ☐ 情報共有のルールが周知されているか
BCPの実践	☐ 優先業務の明確化ができているか ☐ 代替手段や連携先が確保されているか ☐ 訓練を通じて課題と改善点が洗い出せたか ☐ 改善策の具体的な計画が策定されたか